

第15回紀伊半島三県議会交流会議について

1 概要

紀伊半島三県議会交流会議は、紀伊半島の振興及び発展に資するため、紀伊半島三県に共通する課題等について意見交換を行うとともに、必要に応じて関係機関に対する要望その他の活動を行うことを目的として設立された。

本会議は、奈良県、和歌山県及び三重県の各議会議長、副議長並びに半島振興法指定地域、かつ県境に隣接する地域を選挙区とする議員をもって組織されるが、これらに該当しない地域を選挙区とする議員についても参加を認めている。

なお、本年度の第15回紀伊半島三県議会交流会議は、三重県で開催が予定されている。

2 開催日時・場所

令和3年7月21日（水）午前11：30～ 奥伊勢フォレストピア
（三重県多気郡大台町菌993）

3 出席議員数（予定）

7名程度（正副議長：2名、議員：5名）

4 昨年度の派遣状況 ※正副議長は除く

○派遣議員数 6名（令和2年7月17日 和歌山県にて開催）

〈（参考）R1:8名、H30:7名、H29:6名、H28:7名、H27:7名〉

○派遣議員の内訳

新政みえ（2名）、自由民主党県議団（2名）、草莽（1名）、公明党（1名）

○三重県議会議員派遣取扱要領第2の⑥号

地方行政又は議会制度に関する研究又は研修を目的とした会議への参加

5 その他

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、開催を見送る場合などがある。

【参考】昨年度からの変更点について

(1) 開催県からの議題提案

昨年度は、開催県からの議題提案をしていなかったが、視察先と関連のあるテーマとして、「ワーケーションの推進について」を議題に提案する。

(2) 会議の順序及び構成

昨年度は、①昼食→②会議→③講演会→④視察の順で実施していたが、今年度は、①昼食→②視察→③事例発表会→④会議の順で実施する。

なお、事例発表会では、関係者からワーケーション推進の取組状況、利用者の声や今後の課題等について、説明を受ける予定である。

(3) 参加人数を全体で20名程度とする

昨年度は、全体で28名が参加していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を考慮し、各県からの参加議員数は、正副議長を除いて最大5名程度とする。